



2023 S-FJ Japan League



S-FJ もてぎ・菅生シリーズ 第1戦、第2戦
もてぎチャンピオンカップレース
2023年3月4・5日 天候:晴れ・ドライ 参加16・15台



テキスト:はた☆なおゆき

スーパーFJの全国戦は、5シーズン目を迎えて「ジャパンチャレンジ」から「ジャパンリーグ」に改称。今年は6大会8戦で覇が競われる。その初戦が、もてぎ・菅生シリーズ第1戦、第2戦と併せて、3月4～5日にモビリティリゾートもてぎで開催された。

もてぎ・菅生シリーズでは、チャンピオンの田上蒼竜選手が卒業を果たし、FIA-F4へのステップアップが確定。昨年の最終戦で初優勝を飾り、ランキング2位の内田涼風選手(群馬トヨペット Team RiNoA ED)を中心とした戦いとなりそうだが、同様に継続参戦を決めたドライバーの中には、体制を改めて挑む者もあり、一筋縄では行きそうもない。

なお、今回は2レース開催で、土曜日に第1戦の、日曜日に第2戦の、予選と決勝レースがそれぞれ行われる。

公式予選 第1戦

土曜日の早朝には、第1戦の公式予選の前にスポーツ走行が実施され、ここでトップは椎橋祐介(FG ウィンズ NMSP KKSII)。昨年の日本一決定戦でレースデビューを果たし、シリーズ参戦はこれが初めて。2分4秒647は、昨年の同時期に田上選手が記録した2分4秒414に、わずかに及ばなかったが、肝心なところ、すなわち公式予選では多くのドライバーが上回ってきたのが頼もしいところ。もてぎでも、仕様を改めたコントロールタイヤの効果が発揮された。

冷えた空気、低めの路面温度と絶好のコンディションの中、計測2周目には内田拓馬選手(テイクファースト&アメロイド)がさっそく2分4秒台に入れ、次の周には椎橋選手が2分4秒078を出して、さっそくターゲットタイムを超えてきた。

だが、これに留まることなく、計測6周目には小川涼介選手(HIROTEX M2 KK-SII)が2分3秒983を叩き出し、次の周には2分3秒900まで短縮するも、即座に椎橋選手が2分3秒560でトップに躍り出る。さらにさらに、池田選手がセクター1、セクター2で最速タイムを記して「驚速」の予感も、なんとストレートで計測ラインに届かぬうちにストップ。ドライブシャフトの破損が原因だった。

そして最終計測周に、それまで2分3秒983をベストに、3番手につけていた池内比悠選手(群馬トヨペット Team RiNoA ED)が2分3秒555にまで短縮を果たし、トップに浮上。チームメイトの内田選手も、ほぼタイミングを同じくして2分3秒838で3番手に上がり、椎橋選手を挟み込んでいた。チームを移籍して2年目のシーズンに臨む、池内選手にとって初めてのポールポジション獲得となった。

4番手は小川選手で、5番手は中澤凌選手(ZAP NAKs 10V ED)で、池田選手は悔しい6番手。「池内選手の前を走っていたので、あの周、最後まで走れていればトップに立てたと思います。タイヤが他の人より若いので、決勝は自信があります」と語っていたが、如何に？

ポールポジション:池内比悠選手(群馬トヨペット Team RiNoA ED)

「最後にうまく合わせられたので、それがいい方向に行きました。チームを移って2年目になります。マシンも変わって、とても乗りやすくて僕には合っているようです。それでタイムもいい傾向に向いているので、いい体制に整えられたと思います。このまま決勝でも行きたいですね。スタートミスさえなければ！」



予選2番手:椎橋祐介選手(FG ウィンズ NMSP KKSII)

「昨日、初めてニュータイヤを履いて、バランスをいじりたいところがあったので、そこを調整したら、今日は良くなりました。いい感じです。シリーズを追うのは今年が初めてですが、去年は日本一にスポットで出ました。それまでは高校生までレーシングカートをやっていました。序盤のペースに不安があるので、スタートミスをしないように、そこで離されないようにしていきたいと思います。」



予選3番手:内田涼風選手(群馬トヨペット Team RiNoA ED)82

「トップの池内選手との間隔が徐々に縮まっていたので、ぶっちゃけ自分がトップだと思っていたんですけど、帰ってきたら『あれ、3番手?』って意外でした。一発のタイムは出ませんでした。アベレージ的には自分の方がいいと思うので落ち着いて、とりあえずトップでゴールできればいいと思っています」





決勝レース 第1戦

上空には青空が広がり、時おり冷たい風が吹くも、温度も予選より若干上がって、まさに開幕戦に相応しいコンディションになっていた。注目のスタートで、シグナルのブラックアウトに誰より素早く反応したのは椎橋選手だったが、その後の加速が鈍り、1コーナーへのホールショットに池内選手が成功。さらに小川選手が3コーナーで2番手に浮上し、池内選手と椎橋選手、池田選手、そして磐上隼斗選手(アルビ 富士吟景 10V ED)を従える。

1周目を終えた時点で、トップ池内選手のリードはコンマ5秒。2周目の1コーナーで内田選手が小川選手を、そして椎橋選手を池田選手がかわして、それぞれ順位を入れ替える。その間に逃げたい池内選手ながら、ペースに優ったのは内田選手の方。3番手争いは池田選手と小川選手によって繰り広げられていたから、いったんはそのふたりとの差は2秒以上に広がっていた。だが、チームメイト同士でやり合ってしまったことで、ペースが鈍って後続を再び近づけてしまう。

6周目の1コーナーで内田選手がようやくトップに立つも、池田選手がすぐ背後に。そればかり



か7周目には椎橋選手と小川選手も近づいて、5台で完全なトレイン状態となってしまふ。そして8周目の3コーナーで最悪の事態が。池内選手と内田選手が接触してしまったのだ！内田選手がその場でスピンを喫し、池内選手は立ち上がりで挙動を大きく乱してしまう。

これによりトップに躍り出たのが池田選手。視界が一気に開けると「タイヤが若い」メリットを活かし、一気にスパートをかける。逆に2番手争いはなおも激しく続き、9周目の1コーナー、最終ラップの90度コーナーで、それぞれスリーワイドの光景も。この戦いを制したのは小川選手で、続いたのは椎橋選手。その後を磐上選手、村田将輝選手(湘工冷熱 ZAPSPEED KK-SII)の順で駆け抜けた。



最終ラップにはファステストラップ、2分4秒078をも記録していた池田選手は4秒もの差を築いて初優勝。チームはそのままながら、マシンを入れ替えた効果があったのかも。また、ジェントルマンクラスでは総合10位だった、安藤弘人選手(ZAPSPEED 10V ED)が優勝を飾っている。



ウィナー：池田拓馬選手(テイクファースト&アメロイド)

「泣きました……。ここまで来るのが大変で、何と言ったらいいかわからないです。展開にも恵まれたし、車は速そうだったのに予選でトラブルが出て。いろんな人が直してくれたのを、結果で返せたので良かったです。ありがとうございます。今年から車、タイヤが変わったのが大きいのかもしれません。前の2台には絶対何変わると思って、僕はちょっと引いていました。でも、ギリギリでした。僕も少しふらついたんですけど、冷静に対処できました」

2位：小川涼介選手(HIROTTEX M2 KK-SII)

「出だしは良かったんですが、そこから自分のミスもあって順位を落としてしまって……。結果的に前のクラッシュがあって、2位にまで上がれて守り切るという意識で、それができたのが最低限。予選もちょっとペースが悪くなくて、タイムが出ませんでした」

3位：椎橋祐介選手(FG ウィンズ NMSP KKSII)

「スタートダッシュは良かったんですが、2速に入れ損ねました。後半のペースは良くて、しっかり追い上げることができたのは、そこは次の課題として、スタートを確実に決めていきたいと思います」

公式予選第 2 戦

第 2 戦の予選は、さながらシーソーゲームのようだった。路面状態が良くなかったのか、第 1 戦ほどタイムが伸びず。計測 3 周目になって、ようやく椎橋選手が 2 分 4 秒台に入れてトップに立つも、次の週のトップは池内選手。その次の周は椎橋選手が取り戻すも、ラスト 3 周でトップに立ったのは小川選手ながら、2 分 4 秒 145 で 2 分 3 秒台に入れることはできず。

これで決まりか……と思われたものの、最後の最後に椎橋選手が 2 分 3 秒 841 をマークしてトップ返り咲きに成功。ほぼ同時タイミングで池内選手が 2 分 4 秒 009 をマークして、チェッカーを待たずピットに戻っていた、小川選手を上回って 2 番手につけた。

4 番手は内田選手で 2 分 4 秒 338、5 番手は池田選手で、6 番手が磐上選手。ここまでがトップの椎橋選手に 1 秒差で並んでいた。

ポールポジション:椎橋祐介選手(FG ウィンズ NMSP KK-SII)

「路面がけっこうダスティでしたね、今日は。昨日は課題だった集中力が、後半落ちちゃったので、今日はそこも集中して行って、最後の方が出るのは分かっていたので、気合い入れて地きました。昨日の悔しさを取り戻します。予選の課題はクリアできましたので、スタートを落ち着いて行って、序盤のペースは今も悪くなかったので、何とか逃げ切りたいです」



予選 2 番手:池内比悠選手(群馬トヨペット Team RiNoA ED)

「路面温度が低いのと、内圧が上がり切らずって感じでしたね。昨日はチームメイトがちょっとよってきて、自分も縁石の方に行っちゃったので、そこでブレーキ踏んでも飛んでいっちゃうから、耐えきれず当たってしまったという……。もうちょっと後で、8 周目ぐらいから争えば、後ろにも追いつかれずに済んだのかなと思います。まだ経験浅いので、お互いに。昨日のことがあったので、今日はクリーンにいきたいと思います」



予選 3 番手:小川涼介選手(HIROTTEX M2 KK-SII)

「順位としてひとつですけど、昨日より上げることができましたし、昨日よりタイムの出し方は全然良くなっていたので、そこは良かったと思います。決勝では順位を上げられたからには、今日はしっかり 1 位を撮りにいきたいと思います。今回は連戦で、昨日の 1 戦目で学んだこととか、今の 2 戦目に活かしているの、ためになっています」



決勝レース第 2 戦

それまで上空には青空が広がっていたが、決勝レース第 2 戦が始まる頃には薄い雲が浮かぶようになり、また強烈に冷たい風が吹くようになっていた。初めてのポールスタートとなった椎橋選手ながら、今度はそつなく決めたものの、それ以上の猛ダッシュを見せたのが小川選手だった。一方、池内選手はホイールスピンさせすぎて、3 番手に後退していた。



1コーナーにトップで飛び込んでいったのは椎橋選手だったが、アウトから被せていったのが小川選手。逆転なるかと思われた矢先の1コーナーで、なんと 2 台は接触。小川選手がトップに立った一方で、椎橋選手はスピンを喫し、最後尾に退く羽目に……。

これで内田選手がトップに立ち、その後方には池内選手と池田選手が。さらに磐上選手、中澤選手が続き、小川選手は 6 番手。だが、内田選手のペースが上がらない。2周目の 90 度コーナーで池内選手がトップに浮上し、3周目には1コーナーで池田選手、ヘアピンでは磐上選手に相次いでかわされていた。

そんな中、ファステストラップを連発していたのが椎橋選手だった。上位陣が 2 分 5 秒台で争い合うのに対し、ひとり 2 分 4 秒台で周回を重ねていた。どうやらマシンにダメージはなかったよう。逆に小川選手はフロントウィングにダメージを負い、本来のペースで走れなくなっていた。

池内選手に対し、ついに池田選手が5周目に動いた。4コーナーでトップに躍り出たのだ。これに続こうとヘアピンで磐上選手も池内選手に迫ったのは、池田選手にとって好都合に働いた。その間にリードをまた 1 秒にまで広げられたからだ。ここでの逆転は許されなかった磐上選手ながら、次の週の3コーナーで 2 番手に浮上。終盤の上位陣はそれぞれ単独走行になり、難なく逃げ切った池田選手が2連勝。昨年のランキングは 6 位で、最上位は最終戦の 4 位だったドライ





バーは、今や「いちばん持っている」存在となった。磐上選手と池内選手は、それぞれ初めての表彰台に上がっていた。4位は内田選手で、5位は小川選手。そして8周目にファステストラップ 2分4秒175を記した椎橋選手は9位でゴールして、ポイント獲得には成功。

ジェントルマンクラスでは本間隆史選手が優勝を飾っている。
 なお、次回のジャパンリーグは4月30日にオートポリスで開催される。



ウィナー：池田拓馬選手(テイクファースト&アメロイド)

「今日のはラッキーじゃなかったですね。ポールの子(椎橋選手)がスタート後にいなくなっちゃったので、できれば倒して勝ちたかったです。でも、連勝できて良かったです！」

2位：磐上隼斗選手(アルビ 富士吟景 10V ED)

「これが初めての表彰台です。でも、途中でフラットスポット作っちゃって、ペースをもっと上げたかったんですが、今の限界で、そこが悔しいところです。次はもうひとつ上を目指します」

3位：池内比悠選手(群馬トヨペット Team RiNoA ED)

「思ったよりペース上がらなかったというか、自分としては、タイヤもロックさせちゃっているんで、それが原因かと思います。悔しいですね。また練習して、もっと頑張ります」



2023 MOTEGI Champion Cup Race

2023 もてぎチャンピオンカップレース 第1戦

2023年 JAF地方選手権もてぎ・菅生スーパーFJ選手権 第1戦・第2戦

S-FJ 公式予選 Rd.1

2023 / 3 / 4 :



Road Course(4,801m)

正式結果表

Weather :Fine

Track :Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Type	Best Time	Delay / Gap	B/L	CarName
1	81	-	1	池内 比悠	KK-S2	2'03.555		10 / 10	群馬トヨペットTeam RiNoA ED
2	53	-	2	椎橋 祐介	KKS II	2'03.560	0.005 0.005	8 / 10	FGウインズ'NMSPKKS II
3	82	-	3	内田 涼風	KKS-II	2'03.838	0.283 0.278	10 / 10	群馬トヨペット Team RiNoA ED
4	12	-	4	小川 涼介	KK-S2	2'03.900	0.345 0.062	8 / 9	HIROTEX M2 KK-SII
5	79	-	5	中澤 凌	RD10V	2'04.043	0.488 0.143	10 / 10	ZAP NAKs 10VED
6	97	-	6	池田拓馬	kks-2	2'04.154	0.599 0.111	5 / 5	テイクファースト&アロイト'
7	36	-	7	磐上 隼斗	10V	2'04.486	0.931 0.332	7 / 10	アルビ'富士吟景 10V ED
8	86	-	8	村田 将輝	KK-S II	2'04.944	1.389 0.458	10 / 10	湘工冷熱ZAPSPEED KK-S II
9	14	-	9	熱田 行雲	RD10V	2'05.103	1.548 0.159	4 / 10	ZAP10VED
10	15	G	1	安藤 弘人	RD10V	2'05.692	2.137 0.589	10 / 10	ZAPSPEED10VED
11	24	-	10	甲山 晴翔	10V	2'05.928	2.373 0.236	10 / 10	Vivalavida でさん子10VED
12	78	G	2	柴田 泰知	RD10V	2'06.084	2.529 0.156	10 / 10	ZAP SPEED RD10V ED
13	46	G	3	本間 隆史	RD10V	2'07.013	3.458 0.929	7 / 7	MATレーシングPJ10V
14	35	-	11	青木 諒太	KKS	2'08.186	4.631 1.173	8 / 9	Albirex with GIA ED
15	99	G	4	佐藤 賢一	MIST KKS II	2'11.013	7.458 2.827	8 / 8	ABBEY RACING
16	777	G	5	松下 正人	MIST KKS II	2'13.626	10.071 2.613	9 / 9	ABBEY RACING

***** 以上予選通過 (2'40.746 - 130%) *****

2023年 JAF地方選手権もてぎ・菅生スーパーFJ選手権 第1戦・第2戦

S-FJ 決勝 Rd.1

2023 / 3 / 4 :



Road Course(4,801m)

正式結果表

Weather :Fine

Track :Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Type	Lap	Total Time	Delay / Gap	Best	B/L	CarName
1	97	-		池田拓馬	kks-2	10	21'01.328		2'04.078	10 / 10	テイクファースト&アロイト'
2	12	-		小川 涼介	KK-S2	10	21'05.482	4.154 4.154	2'04.933	6 / 10	HIROTEX M2 KK-SII
3	53	-		椎橋 祐介	KKS II	10	21'06.447	5.119 0.965	2'04.511	6 / 10	FGウインズ'NMSPKKS II
4	36	-		磐上 隼斗	10V	10	21'06.517	5.189 0.070	2'05.077	5 / 10	アルビ'富士吟景 10V ED
5	86	-		村田 将輝	KK-S II	10	21'06.845	5.517 0.328	2'05.208	4 / 10	湘工冷熱ZAPSPEED KK-S II
6	14	-		熱田 行雲	RD10V	10	21'10.302	8.974 3.457	2'05.503	10 / 10	ZAP10VED
7	79	-		中澤 凌	RD10V	10	21'12.755	11.427 2.453	2'05.535	7 / 10	ZAP NAKs 10VED
8	81	-		池内 比悠	KK-S2	10	21'12.783	11.455 0.028	2'05.112	4 / 10	群馬トヨペットTeam RiNoA ED
9	15	G	1	安藤 弘人	RD10V	10	21'28.598	27.270 15.815	2'07.194	3 / 10	ZAPSPEED10VED
10	46	G	2	本間 隆史	RD10V	10	21'28.890	27.562 0.292	2'07.237	10 / 10	MATレーシングPJ10V
11	78	G	3	柴田 泰知	RD10V	10	21'35.375	34.047 6.485	2'07.287	10 / 10	ZAP SPEED RD10V ED
12	24	-		甲山 晴翔	10V	10	21'38.672	37.344 3.297	2'08.309	2 / 10	Vivalavida でさん子10VED
13	35	-		青木 諒太	KKS	10	22'01.914	1'00.586 23.242	2'10.385	5 / 10	Albirex with GIA ED
14	99	G	4	佐藤 賢一	MIST KKS II	10	22'26.307	1'24.979 24.393	2'11.066	9 / 10	ABBEY RACING
15	777	G	5	松下 正人	MIST KKS II	10	22'59.430	1'58.102 33.123	2'15.975	5 / 10	ABBEY RACING

***** 以上チェッカー *****

***** 以上完走 (規定周回数 : 9Laps) *****

82 - 内田 涼風 KKS-II 7 14'45.831 3Laps 3Laps 2'04.854 3 / 7 群馬トヨペット Team RiNoA ED

2023年 JAF地方選手権もてぎ・菅生スーパーFJ選手権 第1戦・第2戦



Road Course(4,801m)

S-FJ 公式予選 Rd.2

2023 / 3 / 5 :

正式結果表

Weather :Fine

Track :Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Type	Best Time	Delay / Gap	B/L	CarName
1	53	-	1	椎橋 祐介	KKS II	2'03.841		10 / 10	FGウイングス NMSPKKS II
2	81	-	2	池内 比悠	KK-S2	2'04.009	0.168 0.168	10 / 10	群馬トヨレットTeam RiNoA ED
3	12	-	3	小川 涼介	KK-S2	2'04.145	0.304 0.136	8 / 9	HIROTEX M2 KK-SII
4	82	-	4	内田 涼風	KKS-II	2'04.338	0.497 0.193	9 / 10	群馬トヨレット Team RiNoA ED
5	97	-	5	池田拓馬	kks-2	2'04.487	0.646 0.149	7 / 9	テイクファースト&アロイト
6	36	-	6	磐上 隼斗	10V	2'04.550	0.709 0.063	9 / 9	アルビ 富士吟景 10V ED
7	79	-	7	中澤 凌	RD10V	2'04.976	1.135 0.426	8 / 10	ZAP NAKs 10VED
8	86	-	8	村田 将輝	KK-S II	2'05.112	1.271 0.136	10 / 10	湘工冷熱ZAPSPEED KK-S II
9	14	-	9	熱田 行雲	RD10V	2'05.508	1.667 0.396	9 / 10	ZAP10VED
10	24	-	10	甲山 晴翔	10V	2'07.241	3.400 1.733	9 / 10	Vivalavida でさん子10VED
11	46	G	1	本間 隆史	RD10V	2'07.828	3.987 0.587	8 / 8	MATレーシングPJ10V
12	35	-	11	青木 諒太	KKS	2'09.141	5.300 1.313	7 / 9	Albirex with GIA ED
13	78	G	2	柴田 泰知	RD10V	2'09.229	5.388 0.088	9 / 9	ZAP SPEED RD10V ED
14	99	G	3	佐藤 賢一	MIST KKS II	2'11.343	7.502 2.114	7 / 8	ABBEY RACING
15	777	G	4	松下 正人	MIST KKS II	2'14.044	10.203 2.701	7 / 9	ABBEY RACING

***** 以上予選通過 (2'41.197 - 130%) *****

※G:ジェントルマンクラス

2023年 JAF地方選手権もてぎ・菅生スーパーFJ選手権 第1戦・第2戦



Road Course(4,801m)

S-FJ 決勝 Rd.2

2023 / 3 / 5 :

正式結果表

Weather :Fine

Track :Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Type	Lap	Total Time	Delay / Gap	Best	B/L	CarName
1	97	-		池田拓馬	kks-2	10	21'00.827		2'04.614	10 / 10	テイクファースト&アロイト
2	36	-		磐上 隼斗	10V	10	21'01.662	0.835 0.835	2'04.537	7 / 10	アルビ 富士吟景 10V ED
3	81	-		池内 比悠	KK-S2	10	21'03.025	2.198 1.363	2'04.678	10 / 10	群馬トヨレットTeam RiNoA ED
4	82	-		内田 涼風	KKS-II	10	21'07.666	6.839 4.641	2'05.370	4 / 10	群馬トヨレット Team RiNoA ED
5	12	-		小川 涼介	KK-S2	10	21'08.161	7.334 0.495	2'05.214	9 / 10	HIROTEX M2 KK-SII
6	14	-		熱田 行雲	RD10V	10	21'10.490	9.663 2.329	2'05.284	9 / 10	ZAP10VED
7	79	-		中澤 凌	RD10V	10	21'12.164	11.337 1.674	2'05.599	10 / 10	ZAP NAKs 10VED
8	86	-		村田 将輝	KK-S II	10	21'17.554	16.727 5.390	2'04.709	10 / 10	湘工冷熱ZAPSPEED KK-S II
9	53	-		椎橋 祐介	KKS II	10	21'18.521	17.694 0.967	2'04.175	8 / 10	FGウイングス NMSPKKS II
10	24	-		甲山 晴翔	10V	10	21'33.141	32.314 14.620	2'07.585	4 / 10	Vivalavida でさん子10VED
11	46	G	1	本間 隆史	RD10V	10	21'33.233	32.406 0.092	2'07.399	4 / 10	MATレーシングPJ10V
12	78	G	2	柴田 泰知	RD10V	10	21'50.084	49.257 16.851	2'07.515	10 / 10	ZAP SPEED RD10V ED
13	35	-		青木 諒太	KKS	10	21'55.299	54.472 5.215	2'09.875	5 / 10	Albirex with GIA ED
14	99	G	3	佐藤 賢一	MIST KKS II	10	22'46.778	1'45.951 51.479	2'12.564	10 / 10	ABBEY RACING
15	777	G	4	松下 正人	MIST KKS II	10	22'58.325	1'57.498 11.547	2'15.179	8 / 10	ABBEY RACING

***** 以上完走 (規定周回数 : 9Laps) *****

※G:ジェントルマンクラス

